

補助事業番号 21-109

補助事業名 [平成 21 年度 水資源の有効活用のための研究開発等補助事業](#)

補助事業者名 一般財団法人 造水促進センター

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

水資源の有効利用により環境負荷の軽減と循環型経済社会の促進を図るため、水質汚濁防止や海水の淡水化等造水・排水処理技術に関する先端技術の開発および実用化事業を行い、もって機械工業の振興に寄与する。

### (2) 実施内容

#### ① 環境保全に資する造水技術の可能性調査

##### [ア. 中東地域における廃水再生利用可能性調査](#)

8月21日に第1回委員会を開催し、本年度の調査内容等についての検討を行った。

海外現地調査として、カタール2回及びUAE（リヤド）1回の調査を行った。

調査では、それぞれの国における水資源や廃水再利用関係者、中東に進出している日系企業等を訪問し、日系水処理企業の今後の進出可能性や日系企業が得意としている技術である浸せき膜技術の将来性などについて調査した。

また、日本国内においては、文献等によりカタール及びUAEの水需給実態を調査するとともに、浸せき膜を製造している企業を訪問し、最近の中東地域での膜の需要についてヒアリングを行った。

#### ② 造水技術の技術開発

##### [ア. PTFE膜MBRによる下水の再生処理技術開発](#)

PTFE膜の孔径を変化させた場合及び人口下水による汚泥滞留時間を変えた場合による、膜ファウリングの挙動（膜への汚れ物質、詰まり易さなど）の実験、解析を行った。

さらに、実際の下水によるPTFE膜モジュールを用いた実験を行い、生物反応槽の空気と膜面洗浄の空気を別々に注入して汚れの空気洗浄効果を調べた。

##### [イ. 低コスト下水再生利用技術の開発](#)

海水淡水化仕様の使用済み膜の再利用を可能とするため、福岡地区水道企業団海水淡水化センターで使用済みとなった前処理用UF膜及び淡水化用RO膜の提供を受け、実際に福岡市西部水処理センターの下水二次処理水を通水して、それぞれの処理性能の把握を行うとともに、化学処理によるRO膜の改質方法につい

て、予備試験を行った。

2. 予想される事業実施効果

本補助事業の成果が今後広く普及することにより、水処理装置及び環境装置等造水関連機械の導入が増加し、機械振興に寄与することが予想される。

3. 本事業により作成した印刷物等

平成21年度中東地域における廃水再生利用可能性調査報告書	100部
平成21年度PTFE膜MBRによる下水の再生処理技術開発報告書	100部
平成21年度低コスト下水再生利用技術の開発	100部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人 造水促進センター(ゾウスイソクシンセンター)

住所： 郵便番号 103-0003

東京都中央区日本橋横山町4番5号 福田ビル 4F

代表者： 理事長 山本 和夫(ヤマモト カズオ)

担当部署： 総務部(ソウムブ)

担当者名： 総務部長 中村 俊治(ナカムラ トシハル)

電話番号： 03-5644-7565

F a x : 03-5644-0686

E-mail : [zosui@wrpc.jp](mailto:zosui@wrpc.jp)

U R L : [www.wrpc.jp](http://www.wrpc.jp)